

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名：肺高血圧症における心エコーの有用性に関する多施設後ろ向き観察研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 講師・中村啓二郎

【研究の目的】

肺高血圧症とは、様々な要因によって肺動脈の血圧が上昇し、右心室への負荷となり右心不全を発症する予後不良の病気です。肺高血圧症の診断基準が右心カテーテルによる平均肺動脈圧 25mmHg 以上から 20mmHg 以上に変更されることになり、心エコー検査も含め、様々な肺高血圧症の指標について改めて臨床における有用性を検証する必要があります。

【研究対象および方法】

本研究では 2010 年 1 月～2022 年 4 月に当院で心エコー検査や右心カテーテル検査を行った患者さんのデータを解析し、肺高血圧症の診断、重症度、予後との関連を調べることを目的としています。

【研究に用いられる試料・情報】

患者背景(年齢、身長、体重、性別、疾患名、既往歴、内服歴など)、心臓の形や大きさ、弁や心機能に関する検査データ(心エコー検査)、心臓内の圧に関するデータ(右心カテーテル検査)、循環器疾患に関係するような検査結果、予後に関する結果(心不全再入院、心血管イベント、死亡など)

【研究組織】

代表施設名：国立国際医療研究センター病院 研究代表医師：廣井透雄 役職：診療科長
共同研究機関：東邦大学医療センター大橋病院、心臓血管研究所附属病院

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。共同研究機関からのデータは国立研究発法人国立国際医療研究センターに集められデータ化されたあと、共同研究機関の会津大学・情報システム学部門・先端情報科学研究センターに統計解析を依頼いたします。研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。本研究による成果は学術学会、論文等で発表する予定です。その際も個人情報が公表されることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科
職位・氏名 講師・中村啓二郎
電話 03-3468-1251